

地方創生推進交付金に係る事業実施結果報告

資料1

No	交付対象事業の名称	実績額 (うち交付金) 単位:円	実施事業	市の総合戦略における 重要業績評価指標(KPI)		評価	実績値を踏まえた事業の今後について	
				指標	実績値		方針	今後の方針の理由
1	つながる茨城 チャレンジ フィールドプロ ジェクト	1,012,678 (506,339)	<ul style="list-style-type: none"> ○移住交流ツアー 文京区民対象バスツアー2回 東京駅発着移住ツアー1回 ツアー参加者数 95人 ※令和2年2月に予定していた移住ツアーはコロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ○移住相談セミナー参加負担金 令和2年1月「JOIN 移住・交流&地域おこしフェア2020」(開催地:東京ビックサイト)に参加 	【基本目標2】 市の魅力を活かした新しい人の流れをつくる 観光入込客数 150万人 (R1) 移住者数 10人 (R1)	145.6 万人 40人	総合戦略のKPI達成に有効であった	事業内容の見直し(改善)	移住交流ツアーの実施や移住相談セミナーへ参加して地域外の人たちへ積極的に働きかけを行うことによって、石岡市の認知度や好感度の向上や、移住定住につながるきっかけ作りができた。 ツアーの開催についてはコロナウイルス感染症防止対策を実施するとともに、今後は、様々な形でつながりを持つ「関係人口」の創出にも取り組んでいく必要がある。
2	水郷筑波・サイ クリングによる まちづくりプロ ジェクト	4,374,073 (2,187,036)	<ul style="list-style-type: none"> ○広域レンタサイクル事業負担金 高浜駅前からの広域レンタサイクル貸出件数 138台 (H30年度 70台) ○つくば霞ヶ浦りんりんロード利活用推進協議会負担金 協議会に加入し、広域的なPRを実施しました。また、つくば霞ヶ浦りんりんロードがナショナルサイクルルートに指定された。 ○市民サイクリングクラブ設立 令和元年10月設立。会員数104名 (R2.9.末現在) ○サイクリングイベント開催 令和2年3月に予定していたが、コロナウイルス感染拡大防止のため中止。 エントリー者357名 ○地元産木材を活用したサイクルラックの設置 障がい者就労施設に委託し、間伐材を用いたサイクルラックを作成。30基を市内各所に配置 ○市内周遊サイクリングツアーの開催 講演会および周遊サイクリングの実施 2回 自転車安全のための幼児自転車教室の実施 1回 ○交通安全ルールブックの作成 1,200部作成。令和2年度以降、市内での周知に活用をしていく。 ○サイクリングマップの作成 つくば霞ヶ浦りんりんロードから、市内への誘客のため、700部作成し、市内外に向けPRを実施。 	【基本目標2】 市の魅力を活かした新しい人の流れをつくる 観光入込客数 150万人 (R1) 移住者数 10人 (R1)	145.6 万人 40人	総合戦略のKPI達成に有効であった	事業内容の見直し(改善)	広域的なPRの結果、広域レンタサイクルの利用台数が倍増しています。また、国のナショナルサイクルルートとして選定されたことから、更なるPRを実施していく。 また、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、イベントやツアーの実施にあたっては、感染防止対策をあわせて実施していく。
3-1	【現年分】 筑波山・霞ヶ浦 広域エリア観光 連携促進事業	5,033,170 (2,516,585)	<ul style="list-style-type: none"> ○英語版山車・獅子位置情報サービスによるインバウンド対策強化 石岡のおまつり期間中の英語版位置情報サービス提供 ○外国語対応人材の配置 2名雇用 英語等 317日勤務 ○VRによる体験型PRの実施 VR用コンテンツ制作 4コンテンツ 機器の導入 2台 SNSを活用したPRの実施 	【基本目標2】 市の魅力を活かした新しい人の流れをつくる 観光入込客数 150万人 (R1) 石岡のおまつり 60万人 (R1)	145.6 万人 50.3 万人	総合戦略のKPI達成に有効であった	事業内容の見直し(改善)	石岡のおまつりにおける、英語版位置情報サービスの提供や外国語対応の案内の他、VRを用いた新たな情報発信への取り組みにより、国内外からの誘客促進と、受け入れ環境の充実に寄与した。 今後もこれら取り組みを積極的に実施することにより、当市を中核とした広域周遊観光に向けた新たな人の流れ創出に取り組む。
3-2	【繰越分】 筑波山・霞ヶ浦 広域エリア観光 連携促進事業	9,328,400 (4,664,200)	<ul style="list-style-type: none"> ○石岡のおまつりの歴史的背景の実態調査及び記録誌製作 石岡のおまつり歴史実態調査の実施。記録誌(詳細版・概要版)の製作 ○山車の制作・活用等による石岡のおまつり体験型イベントPR推進 制作を予定していた体験型イベント用山車の安全面から修繕による山車制作の断念。次年度、新造による山車制作を新規申請 	【基本目標2】 市の魅力を活かした新しい人の流れをつくる 観光入込客数 150万人 (R1) 石岡のおまつり 60万人 (R1)	145.6 万人 50.3 万人	総合戦略のKPI達成に有効であった	事業内容の見直し(改善)	石岡のおまつりへの新たな人の流れの創出に向けた基礎資料となる実態調査と記録誌を製作した。成果品を図書館等に設置することで、おまつり文化の継承に寄与するとともに、新たな観光PRに向けた基礎資料として積極的なPRに繋げる。 体験型イベント用山車制作では、おまつり関係者を含めた山車制作活用実行委員会を立ち上げ、制作に向け取り組んだ。 当市の山車の魅力を伝えるため、町内で使われなくなった山車を活用した体験型イベント用山車制作に取り組んできたが、使用上の安全面の確保が困難との判断に至り、新造による山車制作を目指し、新規申請し、令和2年度の完成に向け、現在制作を進めている。
4	わくわく茨城生 活実現事業	0 (0)	<ul style="list-style-type: none"> ○運用に向けた準備と制度開始 要綱の制定、制度の周知 移住支援金対象企業の募集(市内企業のR1登録数:2社) 移住支援金申請者 (R1:0件) 	【基本目標2】 市の魅力を活かした新しい人の流れをつくる 移住者数 10人 (R1)	40人	総合戦略のKPI達成に有効であった	事業内容の見直し(改善)	令和元年度からの新制度であり、要綱の制定後、制度の周知と並行して申請の受付を始めた。 支援金の対象者が時期を逸することなく申請できるよう、引き続き広報を行い制度の周知に努める。